

## 安全データシート

## 【1. 化学品及び会社情報】

化学品名 : 業務用手洗い洗剤  
製品コード : HCAL-RPA-ECO

会社名 : 株式会社ミスミ  
住所 : 〒102-8583 東京都千代田区九段南1丁目6番5号九段会館テラス  
担当部門 : ファクトリーサプライ事業部  
電話番号 : 03-6773-7430  
推奨用途及び使用上の制限 : ハンドクリーナー(化粧品)

## 【2. 危険有害性の要約】

GHS分類  
物理化学的危険性 : 分類基準に該当しない  
健康に対する有害性  
急性毒性(経口) :  
急性毒性(経皮) :  
急性毒性(吸入・蒸気) :  
皮膚腐食性/刺激性 :  
眼に対する重篤な損傷性 : 区分1  
/眼刺激性  
呼吸器感作性 :  
皮膚感作性 :  
生殖細胞変異原性 :  
発がん性 : 区分1  
生殖毒性 : 区分1  
特定標的臓器毒性  
(単回ばく露) :  
特定標的臓器毒性 : 区分2  
(反復ばく露)  
誤えん有害性 :  
環境に対する有害性  
水生環境有害性 短期(急性) :  
水生環境有害性 慢性(長期間) :  
オゾン層への有害性 :

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

## GHSラベル要素

絵表示またはシンボル :



注意喚起語 : 危険  
危険有害性情報 : 重篤な眼の損傷  
発がんのおそれ  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
長期にわたる、または反復ばく露による臓器<肝臓>の障害のおそれ  
\*上記の危険有害性情報の詳細については、「11. 有害性情報」の項を参照。

## 注意書き

- 【予防策】 : 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- 【対応】 : 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
直ちに医師に連絡すること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。  
気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
- 【保管】 : 施錠して保管すること。
- 【廃棄】 : 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

## 【3. 組成、成分情報】

単一化学物質・混合物の区別 : 混合物

## 組成及び含有量

成分名(化粧品表示名称)又は一般名	含有率 (重量%)	CAS番号	化審法 官報公示 整理番号	化管法※ (PRTR) 管理番号	安衛法 通知対象物 政令番号
水	非公開	7732-18-5	—	—	—
PPG-3ラウレス-9	非公開	非公開	非公開	—	—
トウモロコシ穂軸	非公開	非公開	—	—	—
エタノール	1.0 - 5.0	64-17-5	(2)-202	—	61
PG	非公開	57-55-6	(2)-234	—	—
PEG/PPG-5/30コポリマー	非公開	非公開	非公開	—	—
トウモロコシエキス	非公開	非公開	—	—	—
アロエバラ葉エキス	非公開	非公開	—	—	—
カミツレ花エキス	非公開	非公開	—	—	—
BG	非公開	非公開	非公開	—	—
キサンタンガム	非公開	非公開	非公開	—	—
(アクリレート/アクリル酸アルキル(C10-30))クロスポリマー	非公開	非公開	非公開	—	—
カルボマー	1.0未満	9003-01-4	(6)-898	565*	—
シクロペンタシロキサン	非公開	541-02-6	(7)-475	—	—
EDTA-2Na	1.0未満	139-33-3	非公開	595*	—
水酸化Na	1.0未満	1310-73-2	(1)-410	—	319*
硫酸Mg	非公開	非公開	非公開	—	—
カタラーゼ	非公開	非公開	非公開	—	—
フェノキシエタノール	非公開	122-99-6	(3)-558	—	—
メチルクロロイソチアゾリノン	0.1未満	非公開	非公開	—	—
メチルイソチアゾリノン	0.1未満	非公開	非公開	—	—
香料	非公開	非公開	非公開	—	—
黄4	0.1未満	1934-21-0	(5)-1402	—	—
青1	0.1未満	3844-45-9	(5)-1732	—	—

—:該当しない

※:化学物質排出把握管理促進法 管理番号(令和5年4月1日施行)

\*:対象となる濃度下限値(裾切値)未満のため該当しない

## 【4. 応急措置】

- 吸入した場合 : 使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し、速やかに通気の良い場所で安静にすること。気分が回復しない場合は医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 水でよく洗い流すこと。
- 眼に入った場合 : 目を擦らず直ちに清浄な水で15分以上眼を洗淨した後、直ちに眼科医の手当てを受けること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗淨を続けること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまでよく洗淨すること。  
この製品が眼に入った場合、一刻も早く洗淨を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。洗淨を始めるのが遅れたり、不十分であると不可逆的な眼の障害を生ずるおそれがある。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中をよくすすぎ、無理に吐かせないでコップ1-2杯の水または牛乳を飲ませるなどの処置をすること。気分が悪いときは医師の診断を受けること。

## 【5. 火災時の措置】

- 消火剤 : この製品自体は、燃焼しない。
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 特有の危険有害性 : 情報なし
- 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を絶ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

## 【6. 漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項、  
保護具および緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。  
漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。  
こぼれた場合はすべりやすいため注意する。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。  
大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。  
漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
- 除去方法 : 少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。  
大量の場合には、盛土で困って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。  
漏出したものをすくいとり、または掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する。  
回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。

## 【7. 取扱い及び保管上の注意】

- 取扱い  
技術的対策 : 取扱いの都度、容器を密閉すること。  
眼、衣類に付けないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。
- 安全取扱い注意事項 : 容器を転倒、落下させ、衝撃を与え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
- 保管  
適切な保管条件 : 直射日光を避け、換気の良い場所で容器を密閉し保管すること。  
施錠して保管すること。

安全な容器包装材料 : 開栓した容器で再び保管する時は、密栓をよく確かめること。  
他の容器に移し替えて保管しないこと。

**【8. ばく露防止及び保護措置】**

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度  
日本産業衛生学会 : 設定されていない  
ACGIH : STEL 1,000 ppm【エタノール】

設備対策 : 取り扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具  
呼吸器の保護具 : 特に必要としない。  
手の保護具 : 必要に応じて保護手袋を使用する。  
眼の保護具 : 必要に応じて保護眼鏡を使用する。  
皮膚及び身体の保護具 : 必要に応じて保護衣を使用する。  
その他 : 通常使用の範囲内では保護具着用の必要は特にない。

**【9. 物理的及び化学的性質】**

物理状態 : ペースト状(スクラブ粒子入り)  
色 : 緑色不透明  
臭い : わずかに芳香臭  
融点/凝固点 : データなし  
沸点又は初留点及び沸騰範囲 : データなし  
可燃性 : 不燃性  
爆発限界及び爆発上限界  
/可燃限界 : データなし  
引火点 : 引火性なし  
自然発火点 : データなし  
分解温度 : データなし  
pH(原液) : 6.3  
動粘性率(25℃) : 12,000 mm<sup>2</sup>/s(代表値)  
溶解度 : 水溶性(スクラブ粒子は不溶)  
n-オクタノール/水分配係数 : 該当しない  
蒸気圧 : データなし  
密度及び/又は相対密度(25℃) : 0.99(代表値)  
相対ガス密度 : データなし  
粒子特性 : 該当しない

**【10. 安定性及び反応性】**

化学的安定性 : 通常の条件では安定。  
危険有害反応可能性 : 強酸化剤との接触を避ける。  
避けるべき条件 : 高温(40℃以上)になる場所、直射日光の当たる場所、凍結のおそれのある場所で保管しない。

- 混触危険物質 : ハロゲン類、強酸類、酸化性物質と接触しないよう注意する。  
危険有害な分解生成物 : 現在のところ有用な情報なし。

## 【11. 有害性情報】

## 急性毒性

## 経口

: ▽エタノールのラットのLD50値=6,200 mg/kg、11,500 mg/kg、17,800 mg/kg、13,700 mg/kg(PATY(6th, 2012))、15,010 mg/kg、7,000-11,000 mg/kg(SIDS(2005))はすべて【区分外】に該当している。

▽フェノキシエタノールはLD50 = 2,937 mg/kg(雄)、4,013 mg/kg(雌)(GLP準拠)(SIDS(2005))、1,300 - 4,000 mg/kg(PATY(6th, 2012))の3件の報告があるが、GLP準拠の2件の報告に基き、JIS分類基準の【区分外】(国連分類基準の【区分5】)。

▽メチルクロロイソチアゾリノン・メチルイソチアゾリノン液の経口急性毒性はメーカーのSDSより2,630 mg/kg。

▽以上のデータから、本製品としての急性経口毒性推定値(ATE)は3,000~4,000 mg/kgとなり、2,000 mg/kgを超えることからJISのGHS分類基準を採用し【分類できない】とした(※国連GHSの分類では【区分5】)。

## 経皮

: ▽エタノールはウサギのLDLo=20,000 mg/kg bw(SIDS(2009))に基づき、【区分外】。

▽フェノキシエタノールは4件のウサギLD50値のデータ、2,000 mg/kg(PATY(6th, 2012))、2,251 mg/kg(SIDS(2005))、3,815 mg/kg未満(SIDS(2005))、13 mL/kg(PATY(6th, 2012))及び1件のラットLD50値のデータ、14,300 mg/kg未満(SIDS(2005))が報告されている。うち1件が区分4、4件がJIS分類基準の【区分外】(国連分類基準の【区分5】)を含む【区分外】に該当することから、分類ガイダンスに基づき【区分外】。

▽以上のデータより、本製品としての急性経皮毒性推定値(ATE)は3,000~4,000 mg/kgを超えるため【分類できない】とした(※国連GHSの分類では【区分5】)。

## 皮膚腐食性/刺激性

: メチルクロロイソチアゾリノン・メチルイソチアゾリノン液は【区分1A】に分類されているが、含有率が【区分1】のカットオフ値(1.0%)未満であるため、【分類できない】とした。

眼に対する重篤な損傷性  
/眼刺激性

: PPG-3ラウレス-9およびメチルクロロイソチアゾリノン・メチルイソチアゾリノン液は【区分1】に分類されており、合計含有率が3.0%以上であるため、【区分1】とした。

呼吸器感作性  
又は皮膚感作性

: メチルクロロイソチアゾリノン・メチルイソチアゾリノン液は皮膚感作性【区分1】に分類されているが、含有率が【区分1】のカットオフ値(1.0%)未満であるため、【分類できない】とした。

## 生殖細胞変異原性

: 情報なし

## 発がん性

: エタノールは【区分1A】に分類されており、含有率がカットオフ値(0.1%)を超えているため、【区分1】とした。ただし、エタノールが【区分1A】に分類された根拠が、エタノールを飲料として摂取した場合のIARCの情報を基にしているため、本製品の通常の使用範囲では発がん性はほとんどないと考えられる。

## 生殖毒性

: エタノールは【区分1A】に分類されており、含有率がカットオフ値(0.3%)を超えているため、【区分1】とした。ただし、エタノールが【区分1A】に分類されている根拠が、妊娠中に大量かつ慢性的にアルコールを飲んだアルコール依存症の女性と関連しており、産業的な経口、経皮、吸入ばく露による報告はないことから、本製品の通常の使用範囲では生殖毒性はほとんどないと考えられる。

特定標的臓器毒性  
(単回ばく露)

: フェノキシエタノールは【区分3】(麻酔作用)、エタノールは【区分3】(気道刺激性、麻酔作用)に分類されているが、合計含有率がカットオフ値(20%)未満のため、【分類できない】とした。

特定標的臓器毒性  
(反復ばく露)

: エタノールは【区分1】(肝臓)、【区分2】(中枢神経系)に分類されているが、含有率が1.0~10%のため【区分2】の判定基準「10>【区分1】≥1.0」を採用し、【区分2】(肝臓)とした。ただし、エタノールが【区分1】(肝臓)、【区分2】(中枢神経系)に分類された根拠が、飲料としてエタノールを摂取した場合の情報を基にしているため、本製品の通常の使用範囲では特定標的臓器毒性(反復ばく露)はほとんどないと考えられる。

## 誤えん有害性

: 情報なし

## その他の情報

: 薬機法(旧薬事法)上の化粧品は、本来GHSに従った有害危険性区分の必要はないが、形式上その分類区分に従った上記の有害危険性は、通常の使用方法による使用量をはるかに超える暴露があった場合にのみ適用される危険性を含む。

## 【12. 環境影響情報】

## 生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性) : メチルクロロイソチアゾリノン、メチルイソチアゾリノンは【区分1】に分類されているが、含有率が0.1%以下であることから【区分3】の判定基準「 $(100 \times \text{区分1}) + (10 \times \text{区分2}) + \text{区分3} > 25\%$ 」を満たさないため、【分類できない】とした。

水生環境有害性 慢性 (長期間) : メチルクロロイソチアゾリノン、メチルイソチアゾリノンは【区分2】に分類されているが、含有率が0.1%以下であることから【区分3】の判定基準「 $(100 \times \text{区分1}) + (10 \times \text{区分2}) + \text{区分3} > 25\%$ 」を満たさないため、【分類できない】とした。

オゾン層への有害性 : 情報なし

他の有害影響 : 情報なし

## 【13. 廃棄上の注意】

## 残余廃棄物

内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

## 汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 【14. 輸送上の注意】

## 国際規制

国連分類 : 国連勧告の定義上の危険物に該当しない。

国連番号 : 該当しない

品名(国連輸送名) : 該当しない

容器等級 : 該当しない

## 国内規制

陸上輸送 : 労働安全衛生法に定められた輸送方法に従う。

海上輸送 : 船舶安全法に定められた輸送方法に従う。

航空輸送 : 航空法に定められた輸送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に進行。直射日光・高温多湿・氷点下での保管を避ける。

緊急時応急措置指針番号 : 該当しない

## 【15. 適用法令】

薬機法(旧薬事法) : 化粧品

化学物質排出把握管理促進法(改正PRTR法)  
令和5年4月1日施行

労働安全衛生法

危険物 : 非該当

有機溶剤中毒予防規則 : 非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物(令和3年1月1日施行)

名称等を通知すべき危険物及び有害物 : 政令番号61【エタノール】

(令和3年1月1日施行)

毒物及び劇物取締法

: 非該当

(令和5年6月1日施行)

消防法

: 非該当

船舶安全法

: 非危険物

航空法

: 非危険物

## 【16. その他】

参考文献

原料メーカーSDS

独立行政法人 製品評価技術基盤機構「化学物質総合情報提供システム」データベース(CHRIP)

厚生労働省 職場のあんぜんサイト「GHS対応モデルSDS」

改訂情報

2018年3月8日(第1版) : 初版発行(JIS Z 7253:2019 準拠)

2021年4月1日(第2版) : 労働安全衛生法改正(令和3年1月1日施行)および毒物及び劇物取締法改正(令和2年7月1日施行)、日本工業規格の改正(JIS Z 7252:2019 および JIS Z 7253:2019)による改訂、オフィス移転による住所等変更

2023年9月8日(第3版) : 化管法(PRTR法)改正(令和5年4月1日施行)および毒物及び劇物取締法改正(令和5年6月1日施行)による改訂、製品コード変更(旧コード: 41002273)

記載内容の取扱い

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータの評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。また、記載内容は新しい知見などにより予告なく改訂することがあります。

記載内容の問合せ先

: 株式会社ミスミ ファクトリーサプライ事業部

電話番号 03-6773-7430